

# 横浜港南ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

## ロータリーは機会の扉を開く

(2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ)



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10Fパシオホール「リバージュ」 045(848)1111  
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-13 アウソイト 41-302号 TEL045(846)5111 FAX045(846)5129  
◎会長/平山 滋也 ◎副会長/豊場 健伍 ◎幹事/青柳 民朗 ◎会報委員長/坂巻 照代

### 第 2201 横浜港南ロータリークラブ週報 2020. 12. 16. [水] 第 2444 回例会報告

◎司会 宮下SAA 委員  
◎ロータリーソング なし  
◎ソングリーダー なし  
◎ゲスト 港南消防署長 金井 保子様  
◎出席報告 瀧委員長

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
30(5)名	24(4)名	82.7%	82.7%	82.4%

( )内は出席免除会員数

12/10 メークアップ (鶴見北RC) 北見会員

#### ◎ 会長報告

- ① 本日は今年最後の例会です。コロナ禍なので、月に2回の例会で、外へ向けての公式行事は一切ありません。2月まではこの体制を維持しますが、今後どのようになるかわかりません。当クラブのように第5グループで例会を減らしているクラブは10クラブ中3クラブ。例会をズームでやりたいと思っているクラブは1～2クラブありました。旭RCの会報は定型部分1枚紙ですが、ホームページに会長の様子をビデオ撮影したものを保存し、リンクから見てもらおう形などありますので参考にしたいと思います。当クラブは重鎮の会員が2名やめられて、今変化の時です。中期の展望を確立していく『戦略委員会』のような委員会を作ろうと考えています。入会歴3年未満の方やその他興味のある方で研修会を1～3回ほど行いたいと思います。
- ② 後ほど青柳幹事から理事会報告をして頂きます。

- ③ 11月25日にズームでのロータリー研修会があり、RI会長のクナークさんと日本理事の辰野さん他のご挨拶がありました。現地の会場に行く手間を考えるとズームの手法もメリットがあると思いました。
- ④ 大井さんから後ほど報告があります。
- ⑤ 毎年12月にはクリスマス家族例会を行いますが、今年は開催出来ないため、クリスマスプレゼントを皆さんのご自宅へ送ります。

#### ◎ 幹事報告

- ① 12月3日の会長・幹事会の報告をします。
  - ・ 次年度のガバナー補佐について、横浜港南台RCの田實さんが就任予定でしたが、健康上の理由で退会されましたので、今年度の下山ガバナー補佐が連続で次年度も就任されることになりました。
  - ・ 当クラブがガバナー補佐と青少年交換学生の担当クラブになる予定は、ガバナー補佐が2027～28年度。青少年交換学生2024～25年度となる予定です。(年度は変わる可能性があります)
  - ・ 来年2月11日『関内ホール』にてIMが行われます。13時受付14時開始となります。

#### ◎ 委員会報告

- ① お知らせ 飯島会員  
横浜市から、新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少した中小事業者等に対する固定資産税の軽減措置の特例適用の申告期限は令和3年2月1日です。前年度と今年度の任意の3ヶ月の売上を比較し、3割売り上げが下がってしまった事業者は来年度の建物についての固定資産税を2分の1、売り上げが半分以上減ってしまった場合は固

定資産税がゼロとなります。期日までに、特例申告書に記載後、認定支援機関等(銀行や会計事務所)で確認を受け、横浜市に提出後受理されると来年度軽減されます。対象の方は期日までに申請されると良いと思います。

② R財団セミナー 大井会長エレクト  
R財団セミナーに出席してきました。改めて、ロータリーの活動はクラブ独自の活動と、もう一つは、私達の寄付を原資とするR財団や米山の活動、この2本立てがあってはじめてロータリーの活動なのだと思われ再認識して来ました。来期は私が会長を務めさせて頂きませんが、活動を考える際に有益な内容でした。

③ 『ガバナー月信』について 大井会長エレクト  
『ガバナー月信』11月号にロータリー財団月間ということでガバナーの言葉が掲載されています。少し気になった部分があるのでお聞き下さい。  
『11月はロータリー財団月間です。私共にとりまして子どもは宝です。その子供たちの命を奪うか、障害者として一生送るかの堪えがたい疾患がポリオです』

この中の『障害者として一生を送る』ということがいけないのでしょうか。不自由や不便なことは確かにあると思いますが、それが不幸なことなのかはべつものだと考えます。障害を持っている方、障害を持っていないにかかわらず、人としてどう見ていくのかを考えていかなければいけないと思います。皆さんと共有出来たら良いと思いました。

そして、ポリオウイルスは便を介して媒介します。保育園では排泄介助時は使い捨ての手袋をするのが当たり前です。便を介して感染する病気が子供は特に多く、ウイルスは長期間(2~3ヶ月ぐらい)排出されます。皆さんもお子さんやお孫さんの排泄介助時は手洗いを丁寧にさせて頂きたいと思えます。

## ◎ 『事前の防災』

港南消防署長 金井保子様



港南消防署長の金井でございます。

日頃より皆様には地域事業所で防火・防災にご協力いただき本当にありがとうございます。本日は防災についてお話しさせていただきます。

防災は、読んで字の如し、災いを防ぐということです。しかし、災いは、いつ、どのような形で私たちの周りに発生するかわかりません。今年の1月から発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に全世界に広がってしまいました。この災いを防ぐには、何が必要だったのでしょうか。ワクチンの製造、うがいやマスクかもしれません。新型コロナウイルスが広がる一方、手洗いや消毒が功を奏してか、インフルエンザの発症者が減少したのです。

コロナが発生する前から、インフルエンザを予防するためには、手洗いやうがい、消毒を実施することが大切なことだということは、何年も前から言われていました。事前に対策をすることで、災いから逃れることもできるのです。

防災とひとくりに言われますが、防災には事前の防災と事後の防災があると言われていています。

事前の防災とは、災害から命を守るために備えること。(耐震化、教育)事後の防災とは災害の後に生き延びるために備えることです。(非常食、避難施設の確保)

事前、事後とも大切ではありますが、特に事前の防災が充分であるかどうか、災害の被害の程度を大きく左右すると言われていています。

昨年台風15号が9月9日に上陸した時と、台風19号が10月12日に上陸した時では被害の状況は大きく違いました。台風15号は横浜市内の湾岸地域である金沢区の護岸が崩れ、海水の浸水があり、多くの事業所で被害が発生しました。想定外と言われた10メートルの高波だったことで、約750棟の工業団地内の事業所が被災しました。その経験もあったことから、19号が上陸予測されたときは、土嚢の準備や窓ガラスの養生など、台風に対する備えを多くの皆様が実施したことで、被害は最小限に抑えられたのです。

日本は自然災害の多い国です。しかし、災害の多くは、いつどのような状況で発生するかは予測ができませんし、防ぐ事は難しいです。ただ、災害に備え、事前に準備や学習をする事は、人間が努力すればできることで、非常に大切なことなのです。日本の防災は、住民の命を守る行政の設置責務であるという法体系になっていて、国民もそのことを当たり前のもので受け入れているのが実情です。

災害対策基本法を見ても、3条は国の責務、4条は都道府県の責務、5条は市町村の責務の条項ですが、国民の命を守る責務は国にある、都道府県にある、市町村長にあると書いてあります。ですから、国民は自分の命を守る責任は行政にあるという考えが、今でも脈々と続いています。

国民を守る災害対策基本法により、防災インフラが整備され、災害の被害を減少させることができました。しかし、その一方で、行政が自分を守ってくれるという社会通念の定着をもたらしてしまいました。それによって、一人ひとりが災害に向かい合っているという当事者感覚が低下し、自らが自分の命を守ろうとする自助や自己防衛の意識の低下がおこってしまっています。このように、災害に対して過保護になっている大人が非常に多い中、自分の命を守るという主体性のある姿勢を取り戻してもらう事は非常に難しいです。地震が来てもこのくらいの揺れなら、雨もこのくらいなら大丈夫という自己の勝手な経験則と行動は、なかなか変えることができません。そこで、大人に災害に対応する意識を変えてもらうのではなく、これからは子供の時から防火防災の意識や知識を身に付けてもらい、大人の背中を押す力となってもらうと同時に、災害から自らの命を守ると

いう意識を持った大人になって欲しいのです。

災害はいろいろありますが、今日は地震についてお話しさせていただきます。地震の基礎知識についてはお時間があれば最後にお話しさせていただきます。

皆さんが経験された大きな地震はどの地震ですか。ずっと関東に住んでいらっしゃる方は、東日本大地震でしょうか。私は平成17年に発生した新潟県中越沖地震が一番大きな地震です。これから話す地震は覚えていますか。

『日本海中部地震 昭和58年5月26日11時59分』秋田県の沖合約8キロの海底でマグニチュード7.7の地震が発生。男鹿半島の加茂青砂海岸に遠足で来ていた小学生45人のうち13人が死亡。地震から7分後に津波の第一波が到達し、海岸でお弁当を広げた小学生が犠牲になりました。津波警報は地震発生から8分後の12時14分に発令されました。

『北海道南西沖地震 平成5年7月12日22時17分』北海道南西部で、マグニチュード7.8の地震が発生。地震から3分で津波の第一波が到達し、最大約30メートルの巨大津波が奥尻島を飲み込みました。この地震では、226人の犠牲者が発生しました。この地震が起きた時、奥尻島の住民は10年前の日本海中部地震を思い出しました。しかし、日本海中部地震の時は地震が発生してから、17分後に津波が来たのでまだまだ大丈夫という気持ちがあり、避難が遅れたのではと考えられます。

『東日本大震災 平成23年3月11日14時46分』東北地方を中心に、マグニチュード9.0最大震度7。地震の揺れは2分から3分でした。3時から4時にかけて高さ9メートルの津波が発生し、死者行方不明合わせて18427人の犠牲者が発生しました。ほとんどの犠牲者が津波によるものでした。また、この地震による関連死も含めると22,000人の犠牲者が発生しています。この3つの地震では、津波による犠牲者がとても多く発生しています。何度も何度も、地震が発生し津波により多くの被害者が出でおりますので、地震があれば津波が来るとわかっていました。しかし、人間はいつしか災害の怖さを忘れてしまい、また大きな被害が出るということが繰り返されてしまっているのです。今日は災害に対する対応能力を幼い頃から身に付けることを学習してきた子供たちが、奇跡といわれる行動で災害から自分自身だけではなく、多くの人を助けた話を皆様に聞いていただきたいと思います。

東日本大震災で大きな被害のあった岩手県釜石市。釜石市全体では死者行方不明者は1000人を超えています。しかし、この地域で『釜石の奇跡』と呼ばれたことがあったのです。

地震による「津波常襲地域」と言われた釜石市は、1896年三陸地震の津波で人口6500人のうち4000人が犠牲になりました。度重なる津波被害に悩んで釜石市は、2004年から群馬大学の片田教授の指導を受けつつ、市内の小中学校14校全てに防災教育を導入し、児童生徒の防災意識の改革に取り組みました。

事前の防災である、教育を継続して実施することにしたのです。その教育が始まって8年経った時に発生したのが、地震の想定を遥かに超えた東日本大震災でした。この中でも特に隣り合った、釜石東中学校と鶴住居小学校の避難についてお話しします。

『地震発生14時46分』

地震発生時、釜石東中学校の生徒は今までに経験したことのない大きな揺れを感じて、自らの判断で「津波が来るぞ」「逃げろ」と口々に叫びながら、一次避難場所に指定されていた、福祉施設「ございしょの里」をめぐって坂を駆け上り避難を始めました。釜石東中学校は、釜石市が配布したハザードマップでは「津波浸水区域外」に位置していましたので、津波が学校まで来ると想定していなかったはずですが。同じ頃、釜石東中学校の隣にあった、鶴住居小学校の児童は、津波に備えて校舎3階に避難しました。しかし、中学校の「逃げろ」という大声と、一緒に山に向かって逃げる姿を見て、児童たちは躊躇することなく小学校を飛び出して、中学生を追いかけて懸命に走り出しました。中学生が低学年の小学生の手を引きながら避難をし、避難の列には、福祉施設「ございしょの里」へ向かう途中、地元の保育園児や近所のお年寄りたちも合流していました。中学生たちは足腰の弱いお年寄りを助け、園児たちが乗ったお散歩カートを押しながら坂道を駆け上りました。恐怖に怯える園児やお年寄りを励ましながら、中学生たちは、「助けられる人から、助ける人へ」という避難訓練での教えを守った行動を実践したのです。駆け上りながら、来た道を振り返ると、既に津波により土煙が立ち上がっていたそうです。

『地震発生から10分。14時56分』

小学生、中学生、お年寄り、園児の集団は、中学校から約700m離れた福祉施設「ございしょの里」に到着しました。700mの坂を避難するというのは大変だったと思います。息つく暇もなく、中学生が、裏山の異変に気が付きました。それは避難した施設の裏山にある岩肌の一部が崩れかけていたことに気づいたのです。この時、生徒が教師に「ここも危険だから、もっと高い所へ」と進言したそうです。そして、全員で更に高台にある介護施設に向かって再び走り出しました。その直後、ございしょの里は津波に飲み込まれたそうです。

『地震発生から約29分。15時15分』

次の避難場所である、目指したデイサービスのある介護施設に着きました。列の最後尾にいた小学生たちは、介護施設に到着直前津波に追いつかれてしまいました。しかし、子供たちはとっさの判断で山をよじ登って津波から逃げ切りました。

地震発生から約29分後の3時15分、無事に全員が合流して、点呼取り始めた時、下から「津波が堤防を超えたぞ」という叫び声が聞こえたそうです。ここも危ない、波から逃げろ。

子供たちは迫りくる津波の恐怖と闘いながら、さらに高台にある石材店まで駆け出しました。教師たちは「逃げろ」「自分の命は自分で守れ」と大声で叫んでいたそう



です。

『地震発生から約45分。15時30分ごろ』

小学生と中学生の約570人は走り抜き、全員自らの判断で命を守り抜きました。想像もできない恐怖だったと思います。そんな中で周囲の避難者を助けながら避難したこと、子供たちが主体的な判断のもとで津波から逃げ切った事実は、長年にわたり実施された防災教育の取り組みの成功例だったと思います。

東日本大震災では、多くの子供たちも犠牲になりました。中には避難が遅れて全校児童の7割が犠牲になった小学校もありました。

釜石市では死者・行方不明者数は1000人を超えています。しかし、釜石市市内の小・中学校に通う児童・生徒の2926人中、学校を休んでいた等で、学校管理下にいなかった5人を除く2921人は全員無事で、釜石の小・中学生の生存率は99.8%だったのです。この子供たちの見事な避難行動が「釜石の奇跡」と呼ばれ、海外でも賞賛されました。

避難行動も、高学年児が低学年児やお年寄りの手を引いて避難したこと。一刻を争う不安の中で、それぞれの判断で、自らの考えで命を守ったこと。この行動は、単なる防災教育で防災意識を高めただけでなく、「人間自身を大きく育てる」という重要な側面もあったと思います。何年もかかりますが、防災力を身に付けた大人になってもらうため、これからも消防として地道に子供たちを対象とした、防災の指導を実施していきたいと考えます。因みに、この鶴住居小学校の生徒の中に、今港南消防署で勤務する21歳の職員がおります。彼は小学校低学年の時から地震と津波の授業を受け、避難行動が身に付いたと言っています。津波に追いつかれそうになり、山によじ登ったのも彼でした。彼はこの体験で、人間の力は小さいと感じ、如何に防災教育が大切かと感じ、消防での仕事を選び、防災教育の必要性を伝えていきたいと言っています。

子供の頃からの防災教育が大切なのは皆様にもわかって頂けたと思います。しかし、学校だけで防災教育を実施していても効果はあまりないのです。

皆さんに質問します。今ここでぐらっと地震が来たら、最初に何をしますか。

私たちは、子供たちに地震から身を守るように、テーブルの下などに身を隠すように指導しています。しかし、どうでしょう、皆さん少し揺れた位では自分の経験則という曖昧データを発動し、このくらいなら大丈夫と何もしないのではありませんか。そんな皆さんを子供たちが見ているのです。それを見た子供たちはどう考えるでしょう。学校で教わった防災教育は「多分正しいことなのだろう」と思っています。しかし、大人が身を守っていないのだから、大丈夫なのだと考えてしまいます。

せっかく学校で防災教育をしても、家庭の大人の姿勢で無意味なものになってしまうのです。ですから、大人が正しい姿を子供たちに見せながら、防災教育をしていかなければならないのです。学校での防災教育を中心に捉えながらも、家庭や地域の方々も加わり、みんな

で事前の防災を推進していかなければならないのではないかと思います。そして、防災知識と技術を持った子供たちが育っていき、一人ひとりの日本人が自助の意識を高めていかなければならないのです。人任せではない自助という意識を育てていかなければならないのです。100回の地震で空振りがあるかもしれません。しかし、101回目に大地震が来るかもしれません。そのためにも、防災教育を充実させ、災害の教訓をしっかりと後世に伝えていくことが、私たち大人に今できる事と考えます。

#### ◎ ニコニコボックス 宮島(史)親睦委員 平山会長

あつという間に今年最後の例会となりました。

港南消防署長金井保子様ようこそいらっしゃいました。

青柳幹事 上杉会員 豊場会員 小後摩会員

松村会員 天野会員

港南消防署長金井保子様ようこそいらっしゃいました。

大井会員

今日は朝8時の保護者面談からはじまりました。

例会終了後、オンライン授業ですが、今回は松村会員にもご協力頂き、オンラインでシンポジウムをします。松村会員よりよろしくお願い致します。

根本会員

金井署長、昨年の当クラブ50周年では大変お世話になりました。

福嶋会員

朝夕だいぶ寒くなりましたが元気でおります。

消防署長金井様ようこそいらっしゃいました。

市川会員

横浜市港南消防署長金井保子様卓話有難うございます。

会員の皆様、良いお年をお迎え下さい。

坂巻会員

消防署長金井保子様の卓話を楽しみにしております。

Go-Toキャンペーン、とても残念ですがしょうがないですね。

海野会員

今年もあと15日です。あつという間でした。コロナの一年です。

港南消防署長金井保子様の卓話を楽しみにしております。

ニコニコボックス本日合計	14,000円
ニコニコボックス累計	465,000円

#### ◎ 米山チャリティボックス 宮下米山奨学委員長 大井会員 坂巻会員 平山会員 宮下会員 4名

米山チャリティボックス本日合計	8,000円
米山チャリティボックス累計	134,000円

#### ◎ 1月の予定

1月6日(水) 会長年頭所感挨拶

13日(水) 休会

20日(水) クラブ協議会

27日(水) 夜間親睦会(自由参加)『北京飯店』

#### ◎ 会報 市川会報委員